

## 5月16日決算説明会資料



2016年5月  
株式会社タダノ

### 説明内容



I . 事業に対する基本の考え方  
+ 中期経営計画 (P.1~14)

II . 15年度 + 今後 (P.15~20)

# I . 事業に対する基本の考え方 + 中期経営計画

1

## 1. タダノの事業領域

- ・1948年 設立
- ・1955年 日本初の油圧式クレーン

抗重力・空間作業機械 (移動機能付)  
= Lifting Equipment (LE)

## 2. 経営理念



私たちタダノグループは、  
経営理念「創造・奉仕・協力」の実現を事業目的と位置づけ、  
それを「到達点のない永遠に目指すべきゴール」として、より高みを目指します。



### 経営理念

#### 創造【Creation】

工夫による前進と誇りうる品質のために創造しましょう。

#### 奉仕【Contribution】

顧客の利益と住みよい社会の建設のために奉仕しましょう。

#### 協力【Cooperation】

私達の幸福と堅い心の結びつきのために協力しましょう。

## 3. ビジョン



### 世界に、そして未来に誇れる企業を目指して

私たちタダノグループは、

- ・全てのステークホルダーの期待に応え、企業価値を最大化します。
- ・学習し、成長し続ける組織文化を構築します。



事業活動の持続的な成長を図り、企業価値の最大化に努めます。

株主

社員

自らが起点となり、競争力を高め、企業と共に成長します。

社会

安全と環境を常に考え、社会に役立つ製品を提供します。

取引先

よりよい製品・サービスの創造のために、切磋琢磨し、共に成長します。

顧客

常にお客様の視点に立ち、製品・サービスを通じてお客様の事業価値向上に努めます。

## 4. コアバリュー



私たちはどんなときも絶対に譲れない価値観を「コアバリュー」として共有し、それを絶えず追求します。  
また、安全第一・品質第二・効率第三という優先順位はどんな時も変わりません。但し、三番目の効率を抜きにして企業経営は成り立ちません。そのためにも、安全第一と品質第二を何としても確保しなければなりません。



### 1. 安全【S】 Safety

つくる人、扱う人、そして社会の人々の全ての安全を最優先します。

### 2. 品質【Q】 Quality

質の向上を追求し、製品・サービス・業務の品質を高めます。

### 3. 効率【E】 Efficiency

業務効率を向上させるとともに、顧客の経営効率改善に寄与します。

## 5. 長期目標



- LE世界No. 1
- 海外売上比率 80%
- 安定的 高収益企業  
(平時の営業利益率 20%)

世界の人口動態を考えれば、LEは成長産業

LE業界もタダノもポテンシャル 大

長期的には右肩上がりだが...

短中期的には需要はUp & Downを繰り返す



|            |      |   |
|------------|------|---|
| ▪ 複雑で難しい機械 | 部品点数 | 多 |
|            | 加工精度 | 高 |
| ▪ 需要       | 山谷の差 | 大 |
| ▪ 部品売上比率   |      | 低 |
| ▪ 中古車価値    |      | 高 |

## 8. 部品売上比率(連結)



|      | 13年度  | 14年度  | 15年度  |
|------|-------|-------|-------|
| コマツ  | 18.6% | 19.6% | 21.4% |
| 日立建機 | 21.3% | 21.4% | 23.2% |
| タダノ  | 6.7%  | 6.3%  | 6.3%  |

## 9. 何をもって勝負していくか？



商品力  
+  
製品品質  
+  
サービス力  
+  
中古車価値

・長期にわたって磨きこみ、  
長期にわたって獲得していく  
競争優位性

・四拍子そろったメーカーに！

### << 基本方針 >>

## 「強い会社」に

「強い会社」とは、  
いかなる外部環境にあろうとも、  
「利益を出す」・「人を育てる」を毎期継続することができる会社



### << 3つの重点テーマ >>



## 7つの戦略

- ① 基幹市場の拡充と戦略市場の拡大
- ② No.1商品の提供とラインナップの充実
- ③ グローバル&フレキシブルものづくりへの取り組み
- ④ 感動品質、感動サービスの提供
- ⑤ ライフサイクル価値の向上
- ⑥ 収益力のレベルアップ
- ⑦ グループ&グローバル経営基盤の強化

## 経営目標

2014年4月発表

|     |               |           |
|-----|---------------|-----------|
| P/L | 売上高           | 2,200億円以上 |
|     | 営業利益          | 300億円以上   |
|     | 海外売上高比率       | 60%以上     |
| B/S | 棚卸資産回転率       | 5.0回転以上   |
|     | ROA(営業利益/総資産) | 13%以上     |

## Ⅱ. 15年度 + 今後

15

### 1. 15年度

- ・日本市場 好調
- ・海外市場 12年度ピーク、  
13年度から3年連続需要減  
シェアアップ
- ・3期連続で過去最高売上・利益を更新
- ・日本向け・海外向け共に売上増加
  - 高所作業車売上 過去最高更新
  - 海外向け売上 過去最高更新
  - 海外売上比率 49.9%

## 2. 16年度・17年度



現状の見方：今後2年間は厳しい

日本市場 好調継続

(18年度まで高原状態、19年度から減少)

海外市場 厳しい(17年度まで減少、18年度から回復)

- ・日本が好調な間に、海外での市場ポジションを引き上げる
- ・17年度業績は16年度と同レベル
- ・市場環境は不透明だが、リーマンショック前の過去最高売上・利益(07年度)より上のレベルで

## 3. 16年度



・日本市場 高原状態維持

・海外市場 減少

・6期ぶりに減収・減益

・これまでのタダノ

・これからのタダノ

＜四拍子そろったメーカーになるために＞

- ・M&A 2件
- ・新工場建設
- ・販売、部品・サービス拠点増強
- ・中古車 体制整備
- ・RC 更なるシェアアップ
- ・ACとTCに大きな成長余地あり
  - AC 2年間で下地を作り直し、18年度からシェアアップ
  - TC 練り直し、17年度から反転攻勢
- ・車両搭載型クレーン 海外売上増強

## (参考1) 売上高・営業利益率の推移



## (参考2) 建設用クレーン総需要とシェア

